



中塚周一
県政
ジャーナル

BRIDGE

ブリッジ —地域と県政を結ぶ架け橋—



平成21年12月

〈第3号〉

発行

中塚周一事務所

〒713-8125 倉敷市玉島勇崎930

電話 086-528-0319

http://shuchan.com/

印刷 (株)玉島活版所

県民生活の安心安全を願い日夜走る中塚周一 県議

巻頭ごあいさつ

議員活動も3年目。「福祉」や「防災」などをはじめとした諸課題に取り組み、県民生活の安心安全の確保充実のために活動しております。また、本年度は、農林水産委員会へ所属し、農林・水産業にも視野と活動の幅を拡げていくべく努めているところです。

さて、ここ一年を振り返ってみるとアメリカのリーマンショックに端を発する世界的な経済不況の中で日米ともに政権交代が起こるなど、国民の間には不安な中に大きな変化をのぞまれた1年だったのだろうと見ることが出来ます。

県内でも深刻な不況となりましたが、様々に経済雇用対策を発動し、景況感も若干上向いてきたとの報告も出されており、連続的な対策がのぞまれるところです。

政権交代が起き、次は国と地方のねじれ状態となり、県政をどう舵取りしていくのかという課題が一層問わ

れています。地方は二元代表制（国は議院内閣制で国と地方では仕組みが違う）で、議会と知事をはじめとする執行部は、車の両輪にたとえられ「是は是、非は非」互いに良識と緊張感を持ちながら県政を担うことが大切で、国の政策に対しても地方の実状と意見が反映されるよう是非々々で判断していけるよう益々、政策能力を高めていかなければなりません。

このような状況の中だからこそ、今まで以上に地域の皆さまからのご要望やご意見に耳を傾け、その声を県政に届けていきたいと決意を新たにしているところです。

今号では、今年上半年の県政活動を報告したいと思えますので一読いただきますように。また、あわせて皆さまからのご意見もいただければ幸いに存じますので、よろしくお願いいたします。

岡山県議会議員 中塚周一



▲今日も保育の現場に立ち、日本の将来のために子育て支援について奔走する中塚周一（写真 右）

— 日本の将来のために「少子化対策」・緊急対策は「介護」問題 —

岡山県社会福祉関係振興議員連盟で県を動かす。

福祉に特に関係の深い議員で平成20年10月に結成した、自民党県連岡山県社会福祉関係振興議員連盟の事務局長中塚周一は、今年も福祉問題の解決に向けて中心的役割を果たして来た。

岡山県社会福祉協議会をはじめ岡山県社会福祉政治連盟、岡山県社会福祉経営者協議会、岡山県老人福祉施設協議会、日本保育推進連盟岡山県支部、岡山県老人保健施設協会等々と合同で、あるいは個別に話し合いの場を持ち「現場の声」を取りまとめた。

そして、岡山県社会福祉関係振興議員連盟と、岡山県執行部との意見交換会を持ち、提言や意見具申また県議会本会議で質問をくり返し、よりよい福祉の実現に向け活動して来た。

その中で検討された例を次に上げる。

障害者自立支援法に

よると障害者のグループホーム、ケアホームについて身体障害者も利用対象となるが、建物の助成対象は増改築のみであるから、新設の施設整備に単県の補助制度の創設を求めた。障害者社会就労センター（授産施設等）における工賃水準の引き上げを目指し、官工需の発注促進や公的施設を利用した販路拡大、さらに共同受注や販路促進等を実施する岡山県セルブセンターの強化等を訴えた。

保育関係

では、保育所の待機児童の解消。国の保育所最低基準の見直しや直接契約方式の採用等については慎重に議論されるべき。保育士の確保と質の向上。発達障害児保育や家庭支援に対する専門性の向上等の問題。



▲岡山県社会福祉関係振興議員連盟と社会福祉施設関係者との懇談会



▲岡山県執行部との政策協議で現場の声を熱く語る中塚周一-社会福祉議連事務局長（写真左から2人目）

高齢者福祉関係

では、特養ホームの施設整備で、コストの高い個室ユニット一辺倒から、多床室整備への緩和策の検討。

特養ホーム入所待機者全国で45万人（全国老老協調べ）この現実をどう見る。

厚労省は、これまでそしてこれからも在宅介護中心の政策を進めている。しかし現実には老々介護、認々介護（認知症が認知症を介護する）あるいは家庭内虐待の現実があり、在宅介護には限界がある。

介護保険で最も利用料の安い看取りケアまで対応してくれる特養ホームへの入所希望が殺到している。これに対応すべく施策。例えば、待機者数の正しい把握による計画の見直し。増床。新設等によって在宅介護と施設介護のバランスある計画推進を訴えて来た。

平成
21年

岡山県議会2月・9月定例会本会議一般質問に立つ

2月定例会県議会は2月23日開会された。中塚周一は一般質問初日トップに登壇。景気悪化による県財政の影響と対応。入札制度等改革推進計画の運用状況。機能別消防団員制度などについて果敢に質問した。(以下はその主なものを抜粋してご報告します。本文は正式な議事録ではありません。念のため)

2月一般質問

平成21年度予算
編成と財政構造
改革プラン

●税収見込みに ついて

質問

世界的不況下にあつて経済成長もこれまでの状況を見る限り、マインス成長と判断せざるを得ず、税収の悪化は避けられないと思うが、平成21年度予算における税収は、どのような根拠で見込まれたか。

答弁

急激な景気後退や税制改正の影響により、法人二税が大幅減となることを踏まえ、20年度の当初予算よりも397億円減の2252億円を県税収入として計上したところであるが、これは主要500社から個別に業績の見通しを聞き取った上で、昨今の厳しい企業収益の状況を勘案して見込んだものである。



▲県議会で質問に立つ中塚周一

●ネーミングライツ(施設 命名権)について

質問

景気悪化の中で、歳入確保対策として、ネーミングライツに期待しているが苦戦が予想される。取り組みの見通しはどうか。

答弁

桃太郎スタジアム等へネーミングライツ導入について、来年度実施できるよう具体的に検討

ランドをはじめ、県内工業団地などの立地に足踏みをしている企業も多いと聞く。その影響が懸念される。企業立地への対策は積極的に講じなければならぬが、どのように手当をしているのか。

答弁

世界的景気後退の中でも、低炭素社会の実現に向けて、次世代自動車や新エネルギー関連は、将来にわたり成長が期待できる。こうした分野をターゲットに、産学官で構成する企業誘致推進協議会等と連携しながら、優れた交通インフラや全国トップクラスの優遇措置があるので、高度な技術を持ち、新分野への技術開発に取り組む企業の集積など優秀な企業に、知事自身が企業のトップに対し繰り返し強くアピールして、本県の産業クラスターの核となるような企業誘致に向け全力で取り組んで参りたい。

●機能別消防団について

質問

近年の少子高齢化による人口の減少・過疎化や産業・就業構造の変化に伴い地域の災害対応の第一線で活躍する消防団員数の減少や団員の被雇用者化が進む中で、特に平日日中の時間帯の災害対応力の低下が懸念されている。そこで、新たな団員の確保策として、機能別消防団員制度、つまり、特定の活動にのみ参加する支援団員(OB団員、女性消防団員、学生消防団員など)を積極的に活用していくこととする動きが始まっている。

質問

昨年から景気の急激な落ち込みにより、玉島ハーバーアイ

いて十分活用されるよう積極的に推進すべきではないか。



▲マルナカ新倉敷店で火災予防の啓発活動をする女性消防隊のみなさん

答弁

県としては、地域の防災力を強化するため、各市町村には、

9月定例会県議会は、9月7日から9月30日まで開会された。

中塚周一は、一般質問に立ち、主に自身が造詣の深い防災・福祉・介護について論陣を張った。

9月一般質問

災害対策と介護

●災害時の窓口と「ボランティア団体との連携」

質問

8月の台風第9号に伴う豪雨で県内も大きな被害が出た。このような時ボランティアの力を活かせる体制整備が必要である。

岡山県では、「岡山県災害救援専門ボランティア登録制度」を創設しているが、その活用状況と今後の対応はどうか。

答弁

災害救援専門ボランティア制度は、被災地のニーズを把握し、ボランティアに的確な活動

全ての災害、訓練に出動する基
本団員の確保に取り組んでいた
だいていところであるが、地
域の実情に応じた本制度の活用
についても、団の一体感の醸成、
技術・能力の維持などにも配慮
しながら、より積極的に検討し
ていただくよう、今後とも働き
かけて参りたい。



▲徳井田地区文化祭で女性防犯クラブ員から指導を受け災害時の炊き出し包装づくりを体験する

答弁

「港湾岸壁の耐震性」②「災害時の県内外関係者および他港との連携の構築」③「救援物資等の輸送経路確保」が重要であるが、これらの対応はどうか。

①現在、水島港、宇野港、岡山港は、耐震強化岸壁を1バース整備済み。玉島ハーバーアイランドも1バース整備中である。

今後その重要性から、計画的に耐震化を進める。

②関係者との連携。

耐震強化岸壁等使用許可に際し、緊急物資の輸送を優先すること。緊急物資の仮置きや、輸送を阻害する貨物の撤去を条件として協力を求めている。

また、他港との連携は、国において、広島港等をモデル港として「災害時の港湾連携協働マニュアル」を策定中であり、今後他府県の港湾と連携して対応する。

③災害時の救援物資等の輸送経路。緊急輸送道路ネットワーク計画において、約2100kmを緊急輸送道路として指定している。耐震補強が必要な橋梁319箇所内の195箇所。落石等危険箇所471箇所。のうち114箇所が対策済。

地震時の液状化によって通行できない時は、緊急輸送道路を優先復旧する等、今後は防災対策を一層強化していく。

●第3期介護保険計画(H18～H20)の計画と実績にスレ

介護サービス基盤整備は在宅と施設、地域密着型と広域型のバランスある施設整備を!

質問

特別養護老人ホームの入所待機者が増加の一途であるが、施設整備は進んでいない。その理由として、在宅サービスや地域

密着型小規模施設整備計画の方へ偏重していることが影響している。小規模施設は、初期投資は安価であるが、効率が悪く、経営的に困難である。収支バランスが比較的良好な広域型(30床以上)の特養を増床する計画を盛り込み、バランスのとれた施設整備計画をするべきではないか。

第3期介護保険計画期間（H18～H20年度）における施設・居住系サービスの計画数と実績数の状況

	実績 8.1万床	計画数 11.5万床
合計	71%	

	計画	実績	達成率
特別養護老人ホーム	5.1万床	3.7万床	73%
介護老人保健施設	2.7万床	1.7万床	62%
認知症高齢者グループホーム	2.4万床	2.3万床	98%
介護専用型特定施設	1.4万床	0.4万床	31%

答弁

広域型特養の整備と、地域密着型とのバランスを配慮しながら、地域の実情に応じた整備を進めるよう十分協議を重ねていく。

●「措置入所」を再認識すべき

質問

虐待が確認され、要介護者を救済するために、特養ホーム等への措置入所という選択肢があることを行政は意識すべきで、改めて「措置」を決定する市町村へ県から指導する必要がある。

答弁

虐待を受けているなど、やむを得ない理由により、介護保険法や自立支援法による契約によることが困難な場合は、市町村が必要な措置をすることとされている。今後も適切に助言等を行っていく。

県議会常任委員会 農林水産委員会

県議会常任委員会 農林水産委員会
「晴れの国」おかもはや豊かな自然を活かす
3年目の所屬常任委員会は「農林水産委員会」。文字通り農業、林業、水産業に関連する諸課題を取り扱う委員会です。岡山県は、山あり、川あり、海あり、災害は比較的少ない「晴れの国」と呼ばれる県土で農林水産業に適した地です。農林水産業では、担い手・後継者問題や生活できる所得と更にやりがいいのある経営実現の課題などがあります。その中で若い担い手や違う分野（業種）からの新規参入者がアイデアを出して新しい農林水産業の形を創出してきているのも事実です。また、食料自



▲岡山県水産試験場栽培漁業センターを視察



▲JFEライフ 土浦グリーンハウス 水耕栽培を視察



▲岡山県農業総合センター オーロラブラック(岡山県のぶどう新ブランド) 農業試験場を視察

中塚周一 県政報告会を各地で開催

県政を分かり易く説明したり、地域の実状を生む声でお聞きでき



（玉島西公民館）などで開催できました。また各種団体の総会の会場でも、何ヶ所かその時間を

る、県政報告座談会を、今年も各地域や団体で開催させていたいただきました。参加者からは、「県政が身近になった。」「地元の要望が実現した。」等の声が多く出ています。今年も、乙島東（小高地公民館）・南浦地区（南浦公民館）・金頭町内会（板持様宅）・押山・宮本町町内会



▲地域の話に聞かいる南浦地区の皆さん



▲熱心に聞いてくださる 金頭町内の皆さん



▲防災について熱心な質問が出る 押山・宮本町の皆さん



特別委員会は「文化振興・環境対策等特別委員会」に所属し、委員長を仰せつかっています。来行われる「第25回国民文化祭・おかやま2010」を筆頭とした文化振興に関して、また、近年の地球温暖化問題など様々な環境対策などの広範な諸問題を取り扱う委員会です。

特別委員会 文化振興・環境対策

あっ晴れ!おかもや国文祭を成功させよう

ホームページ <http://www.pref.okayama.jp/kokubunsai2010/index.html>

（あっ晴れ!おかもや国文祭）
平成22年10月30日（土）
11月7日（日）

※「国民文化祭」は、毎年各都道府県が持ち回りで開催している日本最大の文化の祭典です。岡山県では、財政構造改革の中、これまでよりも予算を抑えながらも工夫と創造でアマチュアを中心とした各種文化活動を発表、競演するとともに県外からのお客様を「おもてなし精神」で交流を図っていきます。

あなたの声をお聞かせ下さい

皆様からいただいたご意見、情報、ご要望などは一つひとつ誠実に対応させていただきます。建設的なご意見をぜひお待ちいたします。

これまでにいただいたご意見等は、全て電話やメール、郵便等でお返事させていただきます。

このニュースブリッジに添付しているハガキでお寄せ下さい。

お聞かせ下さい

第2回 中塚周一杯ゴルフ大会 7月3日 吉備カン

第2回中塚周一杯ゴルフ大会が7月3日、吉備カントリークラブで開催された。この大会は、先代中塚正人後援会行事として長い歴史があるだけに、周一杯になっても、多数のゴルフ愛好家が参加して下さっている。当日は、さわやかな夏日の下で力いっぱいプレーした。



▲優勝者にトロフィーを手渡す



▲プレーで汗をかいいたあと懇談する参加者

優勝 横溝弘志さん 2位 川久保広一さん 3位 森本厚吉さん
BG賞 前田洋一さん

一九四名のご参加に感謝

この大会に賞品等のご芳志をいただきました方々にお礼申し上げます。

第1回 中塚周一杯ボウリング大会 3月29日 ボウル8(玉島)で開催

初めての中塚周一後援会のボウリング大会を開催したところ、職場グループや家族連れチームの108名が参加して盛大に開催されました。



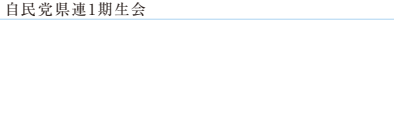
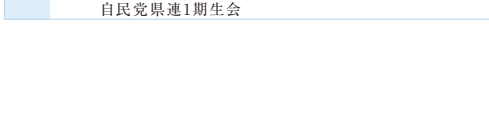
▲初めてのボウリング大会に参加された各チームの人たちと

グループの優勝は、チーム・コウ設備。2位 シュウイチ・ファイアークラブ。3位「和」Aチームの皆さんでした。出口太朗実行委員長は、「初めての企画で心配していたが、多数の人が参加して下さって親睦が深めた。来年もぜひ開催したい。」と語った。

歓声上がる



平成21年1月～10月
(勝手乍ら名称等を簡潔にしています)



中塚周一 後援会
からお願い